

# 競 技 注 意 事 項

1. 本大会に適用する競技規則は、2023年度（公認法）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項により実施する。
2. 練習については支部連絡事項を参照の上、指定区域内で行うこと。その他審判員・競技役員の指示に従うこと。

## 3. 競技者の招集について

- (1) 招集場所は競技場第1ゲート（フィニッシュ側）外に設ける。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてプログラムの記載通りとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前	棒 高 跳	70分前	60分前
フィールド競技	40分前	30分前	男女走高跳予選	55分前	45分前

## (3) 招集方法

- ア 出場しない競技者又は代理人は、競技者招集所付近の掲示板に貼り出された出場競技者一覧表に取り消し線を施すこと。
- イ 競技者は、出場種目の招集開始時刻には招集所に集合する。プログラム記載の招集開始時刻より点呼を始め、招集完了時刻には各競技場所への移動を開始する。
- ウ 招集場所での点呼に不在だった競技者については、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。
- エ 他の種目と兼ねて出場する競技者は、その旨競技者係に申し出て出場を確認する。
- オ 混成競技については、第1日目及び第2日目の最初の競技のみ全体の競技者招集所で点呼を行うが、2種目目からは混成競技招集所で混成競技係からチェックを受け混成競技招集所で待機をする。また、それぞれの競技場所には混成競技係が誘導する。

## 4. 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入場は、係員の誘導に従い規律ある行動をすること。競技者以外はトラック、フィールドに立ち入ることはできない。
- (2) フィールド競技者の退場については、当該競技役員・マーシャルの指示に従う。
- (3) 競技場内には、映像機器やミュージックプレーヤー、またスマートフォン等の通信機器を持ち込むことは出来ない。また、練習器具も持ち込むことは出来ない。

## 5. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、交付された大きさのまま使用し、必ずユニフォームの胸背に確実に付けること。（原則1枚につき、4カ所を止める）ただし、跳躍競技については、胸・背のいずれかでよい。
- (2) トラック競技出場者は腰ナンバー標識を招集所で受け取り、パンツ右側後方に番号が見えるように付けること。男女4×400mRについては、2・3走はパンツ左側、4走はパンツ右側後方に付けること。
- (3) 3000m、5000m、5000mWの予選・決勝とも、胸背部に別ビブスを使用する。出場者は、競技開始1時間前までにTICへ別ビブスを受け取りに来ること。その際、正規ビブス（プログラム記載のビブス）を持参すること。

## 6. 走路順・競技順について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載どおりとする。
- (2) 準決勝以降のトラック競技の組み合わせ及び走路順、フィールド競技の試技順については、番組編成員により厳正に抽選し、決定する。

## 7. 同タイムでのプラス進出者確定について

- タイムによる次のラウンドに進む競技者の決定について、最終枠に同記録があるときの処置は、写真判定主任が0.001秒単位の時間を判定して競技者を判定する。【TR21.5】  
ただし、同成績（0.001秒単位まで同じ）となった場合は以下のとおりとする。
- (ア) 空きレーンがある場合は対象者全員が次のラウンドへ進出する。
  - (イ) 空きレーンがない場合は同成績者または代理人によって抽選する。アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人が来なかった場合は、主催者が代行する。
  - (ウ) 800mについては空きレーンがない場合でも8レーン及び2レーンに2名を入れて実施する。

## 8. 競技について

- (1) 事故防止のため、短距離競技のフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走り安全に減速すること。また、4×100mRの全てのバトンパス後、4×400mRの1走と2走のバトンパスの後も自分のレーンで減速、停止して安全を確認すること。
- (2) リレーのオーダー用紙はラウンドごとにあらかじめTICに取りに行くこと。リレーのオーダー用紙の提出は、予選・準決勝・決勝とも1組目の招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。提出時間に遅れたチームは、当該種目を棄権したとみなして処理する。また、マーカーは主催者が用意する。  
※申告したオーダー用紙の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。  
※招集完了時刻前であっても、一度申告した編成の変更（オーダー用紙の差し替え）は認められない。  
※医務員の判断による変更は出場者のみ認められ、編成（走る順番）の変更は認められない。
- (3) TR16.8により、不正スタートをした競技者は1回目で該当レースを失格とする。混成競技においては、1回のみ許されるが、その後に不正スタートをした競技者はすべて失格とする。
- (4) TR5.2に違反するシューズでの出場は認めない。
- (5) 競技場内での助力は一切禁止する。コーチングエリアやスタンドから助言を与える場合はマーシャルか該当種目の競技役員の指示に従い、競技運営や他の競技者の妨げにならないように注意すること。また、コーチングエリアでは、映像機器の画像を競技者に見せることは出来るが、手渡すことは出来ない。
- (6) 男女の競歩競技においては制限時間を設ける。男子30分、女子35分以内に4600mを通過できなかった者は競技を中止させDNFとする。

- (7) 競技者の服装は所属校の定めたユニフォームを着用し、清潔を旨とし不体裁にならないこと。特に、リレーに出場する選手は上下統一したユニフォームを着用することが望ましい。(あまりにも色やデザインが違うものは避けること。レーシングとランニングの混在は許容する。)
- (8) 走高跳のマーカ―は主催者が用意する。
- (9) フィールド種目の決勝はタイマーを使用する。
- (10) イエローカード(以下YC)については以下の通りとする。  
競技規則 TR7.2 及び TR7.3 を適用せず、下記により実施する。  
(ア) WA 競技規則 CR18.5 の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19、に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。  
(イ) 同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCを提示の累積は、当該種目のみに適用する。

9. 抗議と上訴について(TR8)

- (1) 競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、当該競技者の監督により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、審判長に対して口頭でなされなければならない。(大型スクリーン表示終了時刻を基準とする。)抗議者はTICを通して担当総務員に申し出ること。
- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、当該競技者の監督により、預託金10,000円を添えて「上訴申立書」をTICを通して Jury に提出されなければならない。なお、「上訴申立書」の提出時刻は、その種目の結果が変更されない場合は正式発表から30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、または、その種目の結果が変更されなかった場合は抗議者に対して、その旨が通告されてから30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)とする。

10. バーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

種目	練習	1	2	備考	
男子走高跳	予選	1m70	1m75	1m80	
	決勝	1m75	1m80	1m85	以降3cmきざみ
女子走高跳	予選	1m40	1m45	1m50	
	決勝	1m45	1m50	1m53	以降3cmきざみ
男子棒高跳	決勝	3m30	3m40	3m50	以降10cmきざみ
女子棒高跳	決勝	2m30	2m40	2m50	以降10cmきざみ

- (2) 走高跳・棒高跳で第1位を決める場合、及び全国大会出場権決定の場合の上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。
- (3) 混成競技については、混成競技審判長が決定する。

11. 予選通過記録

	走高跳	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男子	1m80	6m45	13m00	12m00	37m00	40m00	49m00
女子	1m50	5m20		9m40	28m00		35m00

※上記の記録は、天候その他の条件により変更することもある。

- 12. 競技に使用する器具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、「やり」については、通知した競技場備え付けの投てき用具リストに無いもの及び、2個以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。希望者は招集開始時刻1時間前から招集開始時刻まで(混成競技は競技開始の1時間前まで)に、TICで「やり検査申請書」により申し出ること。ただし、検査に合格した用具については、「預り証」を発行のうえ一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げた用具は、その選手を含むラウンド(予選1組または予選2組または決勝)の競技終了まで競技場で預かる。そのラウンドの競技終了後にTICで返却する。なお、借り上げた用具が破損しても責任を負わない。
- 13. 混成競技においてどの順位についても二人以上の競技者が同じ得点をとった場合は同成績とする。
- 14. 各種目で全国大会出場権の最終枠に複数の競技者がおり、規定のルールで着差や順位の確定が出来ない場合には対象競技者全員に全国大会出場権を与える。ただし、走高跳と棒高跳については、対象競技者により順位決定戦を行い、最終枠の順位を獲得した競技者にのみ全国大会出場権を与える。
- 15. 各種目、全国大会出場権を得た選手の表彰を行うので、競技役員の手配により表彰場所へ移動する。他の賞状は正面エントランスホールで受け取る。
- 16. ケガや体調不良に関しては、応急処置のみ行う。
- 17. 全国大会出場権を得た競技者の監督は、大会期間中に全国大会申込みを完了させること。全国大会参加枠については、本大会の要項で確認する。